

## (14)「大阪帝拳」

都島区東野田町2丁目8

- ・東京に本部を持つプロボクシング「帝拳」の系列ジムで、昭和39年(1964)に開設された。女子ボクシングにも取り組んでおり、選手育成でないシティスポーツクラブも運営している。
- ・所属ジムから、渡辺二郎(スーパーフライ級)、六車卓也(バンタム級)、辰吉丈一郎(バンタム級)の世界チャンピオンを輩出している。

## (15)「明生病院」

都島区東野田町2丁目4

- ・昭和53年10月に開院した病院(病床数:222床)で、内科,外科,脳神経外科,整形外科,皮膚科,泌尿器科,リハビリテーション科,循環器内科を有するが、人工透析専門医療機関として知られている。救急病院でもある。
- ・隣接して昭和63年7月開院の「明生記念病院」(内科)がある。

## (16)「KiKi京橋」(もと「京橋花月」)

都島区東野田町1丁目6

- ・平成20年11月に5階建て複合商業ビルとして開設された。(京阪モールと同じ京阪電鉄グループが運営している。)

5階は劇場空間、1～4階は大阪を象徴する「食」を中心に、雑貨やサービステナントで構成されている。

### 「京橋花月」

- ・5階の劇場空間には、平成20年11月に「うめだ花月」(同年10月・閉館)の事業を継承した「吉本興業」の中規模演芸場(座席数500)として「京橋花月」が開場し、漫才・落語・ピン芸人などが出演する「ひる寄席」と芝居中心に構成された「よる芝居」が上演されていたが、3年契約更新であったため次回契約を打ち切り、平成23年11月をもって閉場した。

### 「羅い舞座 京橋劇場」(大衆演劇場)

- ・そのあとに入居したのが大衆演劇の「羅い舞(ライブ)座」で、平成24年11月に「羅い舞座 京橋劇場」として開場した。
- ・「羅い舞座」は、京橋を含め関西に4劇場(堺駅前・堺東・御所)を運営しており、所属する大衆演劇劇団が月替わりで公演を行っている。

## 2. 「大阪ビジネスパーク(OBP)」地区

### (1)「大阪ビジネスパーク」ともと「大阪砲兵工廠」

- ・広大な軍需工場であった「大阪砲兵工廠」跡地の一部で、米軍の爆撃によって廃墟となり、その跡始末と整備に永い時間がかけられたが、戦後20年以上経過した1960年代後半になって、新たな街づくりを進め、高層ビルを建設するとして再整備計画がたてられ、昭和45年(1970)に「OBP開発協議会」が発足して、昭和55年12月からOBP土地区画整理事業に着手された。

- ・京橋ターミナル(JRおよび京阪電鉄「京橋駅」)の南側で、大阪環状線の西側に位置し、「寝屋川」と「第2寝屋川」に挟まれた東西に広がる街中で、中央を南北に横切るメインストリートの「パークアベニュー」で東西2つの地区に分かれている。また、街区中央部には幹線道路「城見通り」が東西に走っている。

- ・まず最初に、昭和61年(1986)4月に「ツイン21」と「富士通関西システムラボラトリ」が完成し、続いて9月には「ホテルニューオータニ大阪」がオープン。翌年5月には京橋ターミナルとOBPを結ぶ歩行者専用橋「大阪城京橋プロムナード」が完成し、さらに、平成8年12月には、大阪メトロ長堀鶴見線が延伸され西地区に「OBP駅」が開設された。



## 「大阪砲兵工廠」

・明治維新後、大阪城内に大日本帝国陸軍の第4師団司令部が置かれ、あわせて兵部省直営の大阪造兵司(砲兵工廠)が設置された。当初の敷地は、大坂城三の丸米蔵跡地(外濠周辺)だけであったが、明治45年(1912)には京橋口定番下屋敷跡地(現:大阪ビジネスパーク)へ拡張され、更に、昭和15年(1940)に「城東錬兵場」(JR環状線の東側)にまで拡張されてアジア最大の規模を誇った。陸軍唯一の大口径火砲の製造拠点であった。



・昭和20年8月のB29による集中爆撃で80%以上の施設が破壊され、戦後も、焼跡地は不発弾が多く危険ということで、約20年間更地のまま放置されていた。

この間、朝鮮戦争の勃発で鉄の値段が高騰したこともあって、立入禁止とはなっていたが焼跡に残置されたままの鉄材や鉄屑を求めて多くの住人が夜間に潜入し、仲間同士が合図で鳴き交わしながら拾い集めていたことから「アパッチ族」と呼ばれ、社会現象化していた時期があった。

## 大阪ビジネスパーク地区の概要

- ・OBPはオフィスを中心に商業・ホテル・ホール等の機能が集積する高機能複合都市
- ・大阪城公園や京橋駅と共に大阪都心東部の拠点を形成するエリア



### (2)「ホテルニューオータニ大阪」 中央区城見1丁目4

・昭和61年(1986)12月にオープンした「ニューオータニ」直営のホテル。地上18階・地下2階建てで、ホテル正面に大阪城天守閣が間地かに控えていることから、計画段階で、ホテル全体の高さを天守閣を上回らないように制限したとされている。

・客室数は525室を誇り、3千人収容の大宴会場のほか中小17の宴会場と和洋中12のレストラン、結婚式場のほかフィットネスクラブ、ショッピングモール、画廊等を設けたインタ

ーナショナルホテルで、OBPを訪れる内外ビジネスマン、川向いの「大阪城ホール」でのイベントや国際会議へのお客に利用され、ホテル内での幅広い催しにも対応している。

(3)「いずみホール」(「住友OBPプラザビル」) 中央区城見1丁目4

- ・平成2年4月に、住友生命保険の60周年記念事業として、「住友生命OBPプラザビル」内にオープンした、シューボックス型座席821席を有するコンサートホール。
- ・ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の本拠地である「ウィーン楽友協会大ホール」をモデルにしており、名前の「いずみ」は住友グループの屋号「泉屋」に由来している。
- ・ホール内部にはフランスのケーニヒ社製のパイプオルガンが設置されており、専属オーケストラとして「いずみシンフォニエッタ大阪」(平成12年結成)も有している。

(4) 東部地区

(イ)「読売テレビ京橋ビル」(もと本社ビル) 中央区城見2丁目2

- ・昭和63年(1988)4月に本社ビルとして竣工したが、令和元年9月、OBP西地区の南側に新社屋が完成して本社機能は移転されたおり、現在は同社の「京橋ビル」となっている。
- ・建物は地上14階の高層棟と地上6階の低層棟からなっており、当初は高層棟に事務部門が入り、低層棟にはニューススタジオの他、大中あわせて3つのスタジオが設けられていた。
- ・現在、同ビルはパナソニックが借り上げ、同社の社内カンパニー「コネクティッドソリューションズ社」の事業部オフィスとなっている。

(ロ)「大阪東京海上日動ビル」 中央区城見2丁目2

- ・平成2年11月に竣工した地上27階・地下3階建てビルで、外側の4本の組柱によって1フロア21mの無柱空間を生み出し、自由なレイアウトが可能な広いオフィスビルとなっている。
- ・ビル内には東京海上日動火災保険の営業店のほか、各種企業がテナントとして入居している。

(ハ)「KDDI大阪ビル」 中央区城見2丁目2

- ・昭和63年(1988)2月に竣工した地上12階・地下1階建てビルで、KDDIの近畿2府4県を統括する関西総支社が入っている。(KDDI=旧・「国際電電」)

(ニ)「KDDI第2大阪ビル」

- ・上記「KDDI大阪ビル」の西隣に、平成27年11月に竣工した20階建て(高さ122m)のビルで、同社の国内データセンターが置かれているほか、これまで市内各所に点在していたオフィスがまとめられている。

(ホ)「マルイトOBPビル」とホテル「モントレラ・スール大阪」 中央区城見2丁目2

- ・平成17年7月に竣工した地上22階・地下2階建て複合ビルで、2階部分が京橋プロムナードと直結している。
  - ・低層階はオフィスフロア(鹿島建設・関西支店ほか)で、17階以上がホテルになっている。
- 「モントレラ・スール大阪」
- ・客室数240室のシティホテルで、天然温泉があり、レストラン・チャペルも備えている。

(ヘ)「富士通 関西システムラボラトリ」

- ・昭和61年(1986)4月に竣工した地上8階・地下1階建ての富士通ビルで、同社の関西支社のほか、システムラボラトリ、ソリューションスクエアが入っている。

(ト)「住友生命本社ビル」 中央区城見1丁目4

- ・平成13年7月に竣工した地上17階・地下1階建ての住友生命本社ビルで、周辺にあるOBPキャッスルタワー、ホテルニューオータニ大阪、住友生命OBPプラザビルとは、2階部分でデッキによって結ばれている。



(チ)「OBPキャッスルタワー」(日本電気関西ビル) 中央区域見1丁目4

・昭和63(1988)11月に竣工した地上38階(高さ150m)・地下3階建て超高層インテリジェントオフィスビルで、東側に4階建ての低層棟が併設している。

隣接するホテルニューオータニ、いずみホールと立体歩道橋でつながれて、自由に往来できる他、イベントができる屋外広場も設けられている。

・高層棟は住友生命のビルであるが、31階以上の高層階には住友グループの日本電気(NEC)関西支社が入居し、低層階にはそのグループ会社が入居している。

低層棟は、もと「近畿大阪銀行」(現「関西みらい銀行」)の本店ビルであったが、同社が合併により関西みらい銀行となった時(平成31年4月)に本店は備後町に移転され、現在は「OBPオフィスビル出張所」となっている。



大阪東京海上日動ビルKDDI大阪ビルとKDDI第2大阪ビル



OBPキャッスルタワー

(5) 西部地区

(イ)「TWIN(ツイン)21」(パナソニックタワーとMIDタワー) 中央区域見2丁目1

・昭和61年(1986)3月に竣工した地上38階・地下1階建て超高層ビル(高さ157m)2棟が並んで建てており、パナソニックグループ関連企業が入居する「OBPパナソニックタワー」(旧名「ナショナルタワー」)と、パナソニック以外の企業や商業施設が入居する「MIDタワー」で構成された日本最初のツインタワービルである。

・地上1~4階部分は、2つのビルディングを繋ぐアトリウム(吹き抜け)となっており、アトリウムを囲むように飲食店が連なる商業施設となっている。

南側に建つ「IMPビル」(インターナショナルマーケットプレイス)の商業施設と一体運営がされており、3階のスカイウォーク(連絡通路)で結ばれている。

また、京橋ターミナルとを結ぶ連絡橋(プロムナード)と直結している。

・別棟の「OBPホール」は最大定員約600名の多目的ホールで、43分割された床が自由に昇降してフレキシブルな空間を創り出す構造になっており、ファッションショーや講演会等が開催されている。

・建築当時の建築主は、パナソニックの関連会社だった「MID都市開発」(旧:松下興産)であったが、現在は合併して「関電プロパティーズ」となっている。

(ロ)「オプテージビル」(もと「パナソニック大阪京橋ビル」) 中央区域見2丁目1

・松下興産が昭和49年(1974)8月に建設した8階建ての「パナソニック大阪京橋ビル」を建替えて、平成29年3月に竣工した地上22階建て(高さ116m)のオフィスビルで、翌年1月に、光ファイバー通信サービス(“eo光”)の「ケイ・オプティコム」が大阪府内に分散していた事業所や放送設備を集約して新本社ビルとし、「ケイ・オプティコムビル」と称されていたが、同社が平成31年4月に「オプテージ」と社名変更されたため、「オプテージビル」と称されている。(旧ビル当時は、パナソニックのショールームが置かれていたが、その後、大阪駅北側の「グランフロント大阪」に移転された。)

・免震構造や72時間対応の非常用発電機を設置し、在館者4日分の上水および2週間

分のトイレ洗浄水を貯留するなど、BCP対応として多くの機能を備えている。

(BCP[事業継続計画]=企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合、損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続や早期復旧を可能とする計画)

(ハ)「松下IMPビル」

中央区城見1丁目3

- ・平成2年3月に竣工した地上26階・地下2階建て(高さ125m)の商業ビルで、1～3階の商業施設は北側の「TWIN21」と一体的な運営を行っており、3階のスカイウォークで結ばれている。4階以上はオフィスフロアで各社の事務所となっている。
- ・2階西側には多目的ホールの「松下IMPホール」(客席857席)があり、講演会、展示会、コンサート、演劇、格闘技など様々なイベントに使用されている。
- ・ビル地階は、OBPの玄関である地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅と直結している。

(ニ)「読売テレビ本社ビル(新社屋)」(もと「シアターBRAVA!」)

- ・平成31年1月に竣工した地上17階・地下1階建て(高さ94m)の読売テレビ本社ビルで、同年9月から放送が開始されている。
- ・高層階はオフィス、低層階はスタジオで、1階フロアの円形ロビーとホールは「10 Plaza」として一般開放されており、エントランスに「名探偵コナンの像」が迎えている。
- ・この地には、平成11年4月に開館した「シアターBRAVA!」(旧「大阪MBS劇場」)があったが、平成28年春に閉館した。毎日放送では、毎日大阪会館の南館(大阪市北区堂島)にあった毎日ホールを改装し「堂島MBS劇場」として運営していたが、毎日新聞大阪本社社屋を西梅田(大阪市北区)へ移転することに伴って同会館が解体され、その代替として建設された。開館当初は、劇団四季が大阪で公演する際のメインシアターとして使用していたが、平成27年に西梅田に「大阪四季劇場」が開館したことで劇団四季の公演はそちらに移行した。その後、敷地の賃貸契約の延長をめぐって土地所有者との合意に至らなかったことや、施設の老朽化が進んでいることなどから閉館するに至った。

(ホ)「クリスタルタワー」

- ・平成2年8月に竣工した地上37階・地下2階建て(高さ150m)の超高層オフィスビルで、建築主は朝日ビルディングである。
- ・大阪ビジネスパークの西端に位置し、全面ガラスカーテンウォールの外観に加え、敷地面積の85%が公開空地として開放されている点が特徴となっている。また、東西に長いビル構造から強風で揺れ易いため、屋上にある氷蓄熱機(1台=90トン)9基のうち6基を振り子の形で設置し、制振装置として利用することで揺れを抑えている。日本の超高層ビルで制振装置を取り入れたのは、当ビルが初めてとされている。



TWIN(ツイン)21



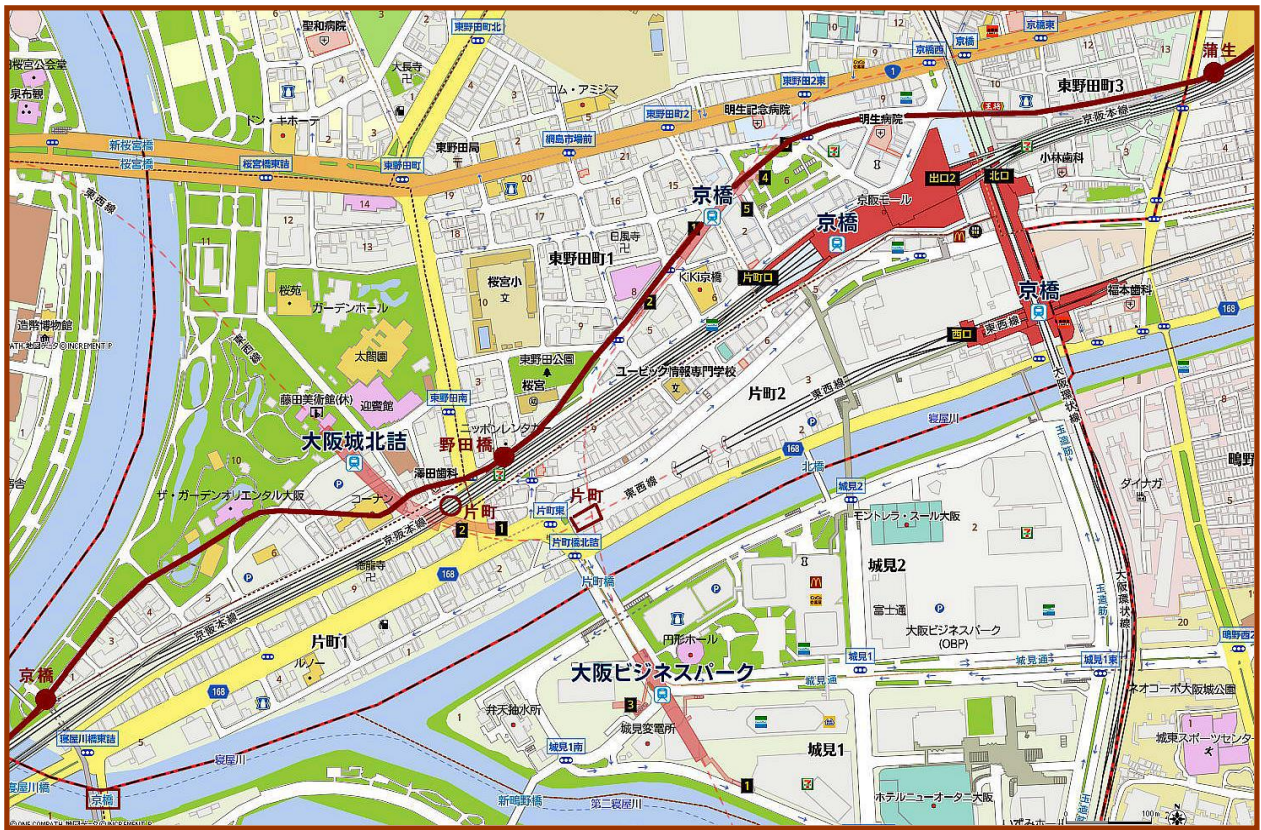
読売テレビ本社ビル(新社屋)



クリスタルタワー



## 開業当初の京阪電鉄・路線図



## 昭和34年頃の京橋周辺マップ

